

## 令和4年度 一番町保育園の自己評価

評価項目	評価内容	課題
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念・方針・目標を職員会議で確認し、重要事項や、園だよりを通して保護者に周知している。</li> <li>・ 理念の一人ひとりの存在そのものの大切さを確認し子どもたち、保護者、職員が安心して自分らしく生きる場を提供するよう人的物的環境を整えている。</li> <li>・ 感染対策緩和後も見直した行事などの内容を生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事や保育内容を検討準備していく際に、子どもたちの自主的なかかわりについて考えていきたい。</li> </ul>
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスでの子供たちの遠足が再開できた。</li> <li>・ ミカン狩りを経験し、収穫物を感謝していただき近隣へもおすそ分けができた。</li> <li>・ 保育の中でお餅つき会を行った。</li> <li>・ 年長組のデイキャンプでは、自然の中で思い切り遊ぶ体験ができた。</li> <li>・ 幼子を見る会の展示を、教会ではなく保育室廊下に週替わりで展示することで、ゆっくりと保護者が見ることができた。</li> </ul>	<p>ここ数年採用の保育者が初めて体験する行事など、丁寧に指導し、意見を取り入れていきたい。</p>
保育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染対策は緩和されたが、手洗い、消毒、食事の席の考慮など必要に応じて感染予防の意識が高まっている。</li> <li>・ 乳児クラスの椅子テーブルなど育ちに合わせて利用できる用意がある。</li> <li>・ 玩具や遊具は安全で子どもの興味や発達にあったものを選び使用している。 (危険と思われるものに対しては、交換修理などで対応)</li> </ul>	<p>保護者とのかかわりの中で、保護者の思いに寄り添い、保護者の要望を受け入れる工夫が必要。</p>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離乳食については、家庭・給食・保育士と連携を取りながら一人ひとりの子どもの状況に配慮している。</li> </ul>	

<p>健康管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら組キャンプでは、イワナのつかみ取りや、丸焼きにかぶりついたり、水代わりを経験できた。</li> <li>・日頃の給食のメニューに関心を持ち、野菜食べ物の種類や栄養についても気づく。</li> <li>・健康状況確認シートを、感染症の気になる期間は記録する</li> <li>・歯科検診を受けることではの大切さを知り、歯科指導では正しい歯の磨き方磨き方の習慣を作る機会にすることができた。</li> <li>・登園時の視診・検温・連絡ノートなどで一人ひとりの健康状態の確認ができています。</li> <li>・感染症マニュアルに基づいて予防・発症に対応している。発症時はホワイトボードなどで速やかに保護者への周知をしている。</li> <li>・アレルギー、熱性けいれんなど個々子どもへの対応を職員が共有している。 (熱性けいれん1名・アレルギー、エピペン保管1名)</li> <li>・アレルギー対応食の解除・変更についても担当職員・保護者の間で共通意識をもって対応ができています。</li> </ul>	<p>保育園と保護者間で、発熱や、嘔吐下痢、発疹などの対応について説明をきめ細やかにする。子どもの最善の利益を守る。</p>
<p>人権保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共有の目的を見つけたり、遊びを一緒に工夫・協力してともに達成感が味わえるよう援助している。</li> <li>・一人ひとりの存在そのものがかけがえないもので、安心して自分らしさを発揮したり、守られ愛されていることを存分に感じながら育つ環境が保障されている。</li> </ul>	<p>保育士として人として保育を行う。保育者同士気づいたことを小さなことでも伝え合う。質問意見を交換する。</p>
<p>安全対策</p>	<p>職員による毎朝の遊具点検、園庭チェック</p>	

	<p>により事故防止に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染節対策により玄関・各保育室などに消毒用ボトル設置が、習慣化しえ必要な衛生管理が行われている。</li> <li>・散歩など園外保育は危険個所など共有し情報交換できている。</li> <li>・年間計画に沿って月1回の避難訓練を実施している。</li> <li>・一斉メールの利用・災害時園児引き取り用紙の内容など見直し確認。いつでも対応可能な状況に努めている。</li> </ul>	<p>安全対策が習慣化してことで、あいまいな活動にならないよう、何のために行っているのか常に意識して行う。</p>
<p>苦情対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が意見を述べやすいよう、意見箱記入用紙を設置している。</li> <li>・役員会においてクラスの声を反映している。</li> <li>・年に一度保護者アンケートを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護の立場に立ち、保護者の思いを受け入れご意見によって気づかされていることを感謝する。</li> <li>・集計し、報告している。</li> </ul>
<p>保護者支援と地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こひつじひろば（未就園児親子広場）については、現状を把握しながら園庭開放、月ごとのあそびメニューお知らせしている。</li> <li>・敬老会など地域との交流の難しさはある。子どもの制作物など届ける工夫をしている（うちわなど）</li> </ul>	
<p>研修計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修では、テーマを決めて乳幼児各打合わせにて話し合い、職員会議で発表する。</li> <li>・キャリアアップ研修、保連、保育士会などの研修のほか、自主的に学びたい研修について参加できる規約がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修したことを園内で共有できるように報告を職員会議で行い、記録を回覧で必ず目を通してしている。</li> </ul>
<p>事務管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務経理担当については、必要に応じて会計士さんに相談、指導を受け能力を高め</li> </ul>	<p>一人ひとりが仕事の優先順位を考え、仕事の配分をすることで、余裕のある環境を整える。</p>

	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修会などにも参加し、新しい情報収集に、獲得に関し意欲的に問い組んでいる。</li></ul>	
--	--	--